

みんなの心が一つにまとまり、いざ挑戦！

朝日中体育祭「クラス対抗団結競争」  
(8月28日：朝日中学校グラウンド)



特集／協働のまちづくり活動～朝日分校跡地利用を考えるII～

町政スポット／台風15、16、18号の爪痕 開所から5ヶ月りんごっこクラブ

春日沼の環境整備完了 ほか

まちの話題／朝日町町制施行50周年記念事業「花やから公演」「郷土芸能の祭典」

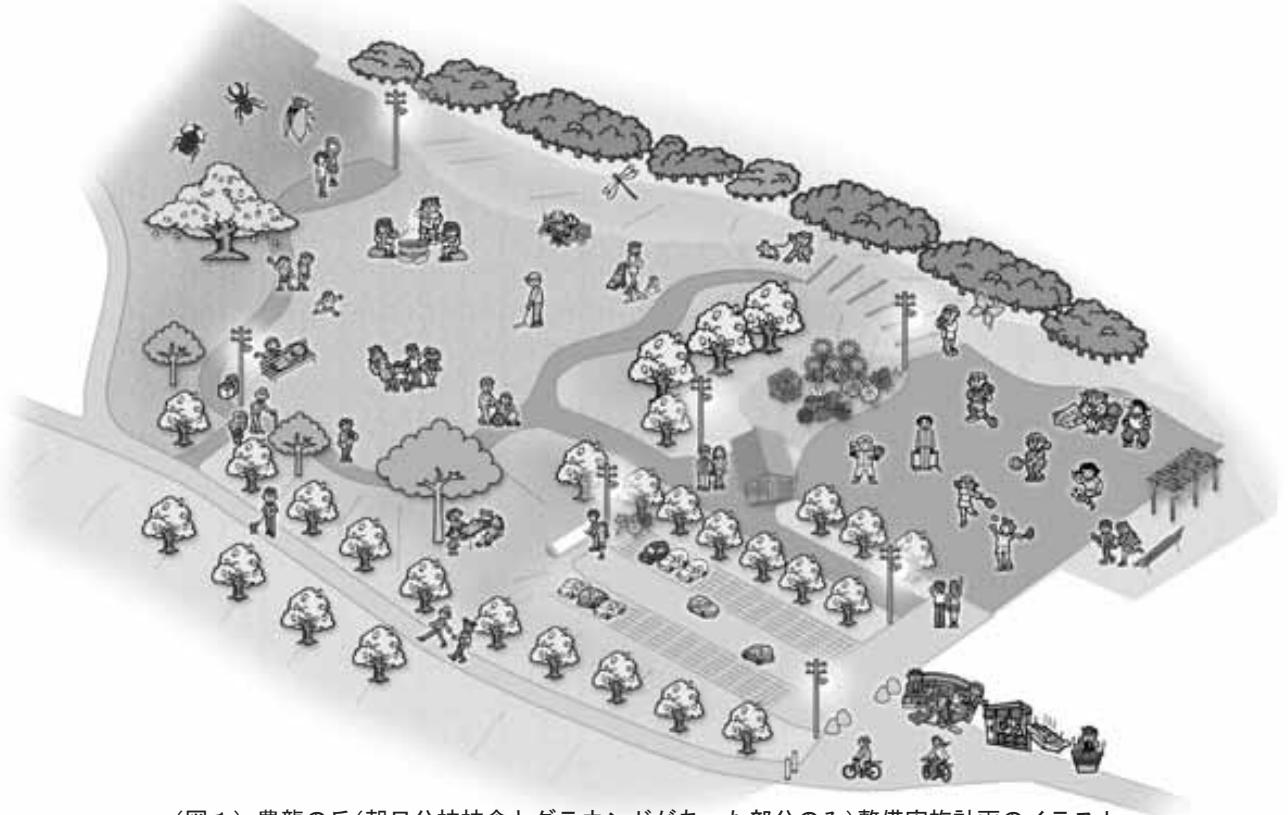
「2004国産ワインコンクール」で朝日町ワインが銅賞を受賞

春日神社祭礼 旧小学校を利用し映写会開催

白い紙ひこうき大会 第11回西部地区スポーツフェスティバル ほか

# 広報 あさひまち

2004年9月  
No. 574



(図1) 豊龍の丘(朝日分校校舎とグラウンドがあった部分のみ)整備実施計画のイラスト

## 特集○協働のまちづくり活動～朝日分校跡地利用を考えるⅡ～

地域の宝に新しい風を…

# みんなの知恵と力で生まれ変わる 思い出の豊龍の丘

## みんなの思いを現実に： 豊龍の丘と整備夢構想とは？

豊龍の丘には、旧東五百川村（のちの宮宿町）の総鎮守「豊龍権現」を祀り、平安時代から人々の豊かな暮らしと安全・安心を祈願してきた千年を超す時の流れがあります。

この忠魂碑建設のために、あの大きな石を大淀から船と人力で運んだ物語が残されています。

大正・昭和の時代は、青空劇場や映画館、ポンボリと夜店が多くの人材を輩出してきた永い

歴史と独自の文化が育ったところです。

このように、豊龍の丘は、幅広い世代にとつて特別な思い出が詰まっている場所であり、朝日町の真ん中という空間と時の流れを持つている貴重な場所と言えます。

しかし、朝日分校閉校後の豊龍の丘は、時の流れが止まってしまったような状態となっています。校舎が取り壊された跡地は、利活用の方策が定まらない上に雑草だらけ。それに加えて、人の出入りを拒むように何本もの太いくいが立ち並んでいます。丘の正面がこのような状態では、奥の広場の活用も見えてこない

町民の思いがたくさん詰まつたみんなの宝。朝日分校の閉校以来、時の流れが止まつてしまつたかのようないい「豊龍の丘」が今、みんなの思いを寄せ、より良い活用に向かつて動き出します。

昨年の広報あさひまち十一月号で「豊龍の丘整備構想づくり」の協働活動（ワークショップ）を紹介しました。その後も、みんなで話し合いみんなで考える「豊龍の丘の公園づくり」の実現に向け、地域のいろいろな人が集まり、住民と行政が一緒になって検討を加えていった結果、具体的な整備がまもなく始まります。今回の特集では、今年から始まる整備内容と、その内容がどうやってまとまったのか、そして、その内容がこれからどう進んでいくのかについて紹介します。



上げていくためには、整備する人と活用する人が、初めから一緒にになって考え議論し決めていく方法が最も効果的であり、その結果、もつと良くなる状態をめざしていけるのです。

今、地方の自立と地方分権が

呼ばれる中、より効率良く、より効果のある自治体運営をしていかなければ、自治体は成り立たなくなると考えられています。特に、「効果」という観点では、「何のために実施するのか」「どんな効果が期待できるのか」を一つひとつの事業毎に明確にさせ、受益者である住民のみな

さんの了解のもと、その効果が上がるような活動の仕組みを作り上げ動かすことが重要です。あれもこれもといった、これまでどおりの対応型行政に依存した姿勢から、転換を図らなければならない時代が来たというこ

とです。

今回の豊龍の丘整備は、この「発想の転換」を住民にも行政にも求めていく活動です。今後更に、この活動が具体的になり、結果が目に見えてくることで、様々な場面で「協働」による活動が増えしていくきっかけになれると考えています。

## 整備構想から夢実現計画へ どうやって町民の意見をまとめたの？

豊龍の丘夢実現計画の図（図2）を見てください。

これが、今年、夢構想を基に丘全体の具体的な整備をめざしてまとめている「夢実現計画」の図面です。まだ完成したものではありません。これからいろいろな機会を設けて、より多くの皆さん思いを出し合い、表現していく必要があります。

今後は、もつと具体的になつていくものとお考えください。その中で、みんなで決めた「今すぐ、やっておくべきこと」を突き詰めた「実施計画」がイラス

ト（図1）です。

さて、「夢」を「実現」するためには、実際の活用や整備を予め予測した、より具体的な計画が必要だということは、これまでの説明で理解していただけたかと思います。では、どんな作業を経て「みんなの思い」をまとめていったのかを紹介します。

まず、宮宿地区周辺の区長さんを初め、NPO（民間非営利活動団体）や女性団体、PTA、商工会の代表などによる「豊龍の丘整備推進協議会」を設立。

図面を、整備部会

会

でまとめていきま

す。

例えば、施設部

会

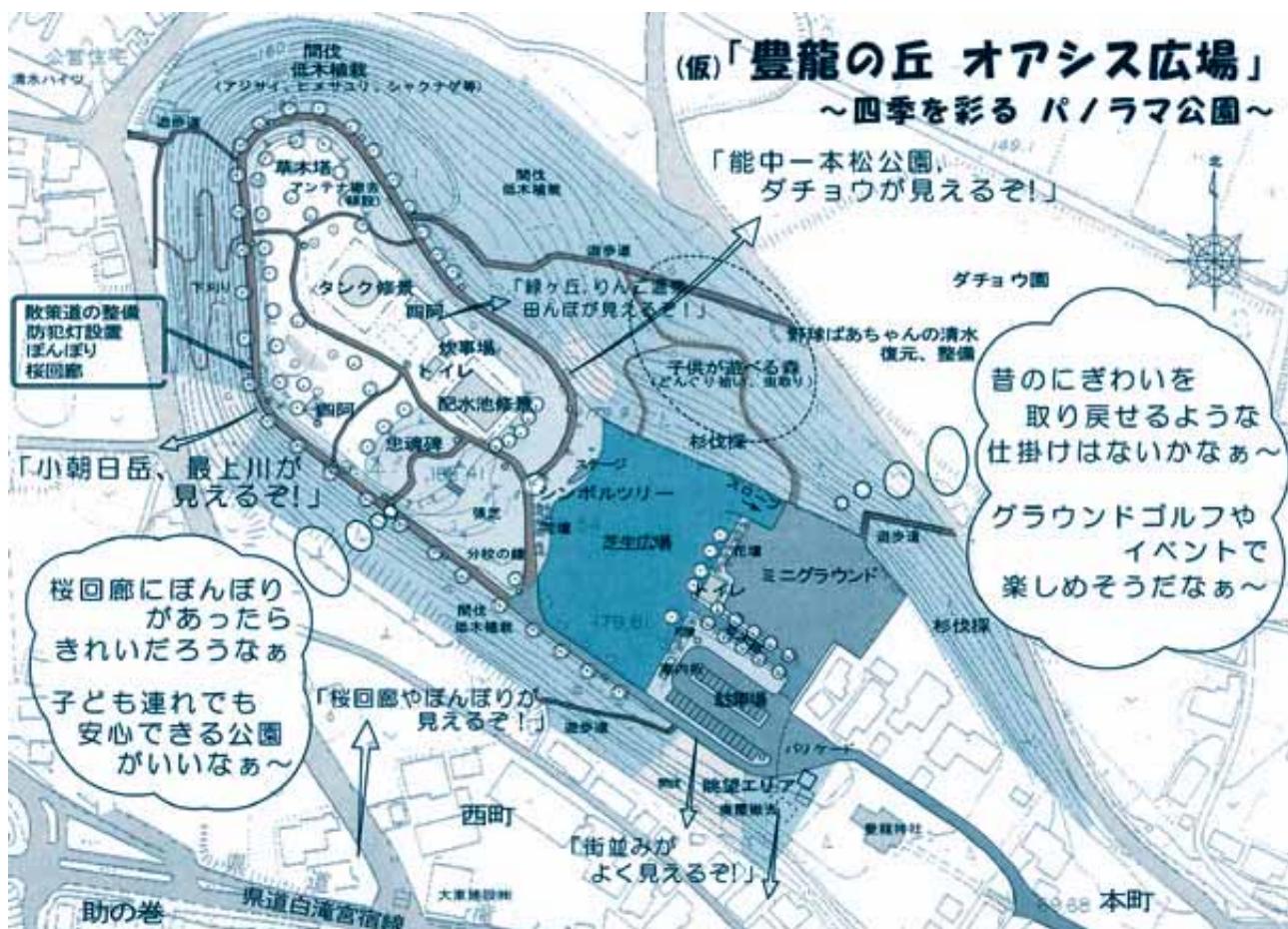
でまとめていきま

す。

それが『豊龍の丘オアシス広場』です。そして、みんなの思いをそれぞれに検討してきた計画を、三部会合同の調整会議で具体的な計画にまとめていきます。

部会は全部で三つ。部会の名前と目的、作業内容は（表1）のとおりです。

まず、それぞれに議論を重ねる時に、めざすところがバラバラにならないよう、仮の全体のテーマをみんなで決めました。



(図2) 豊龍の丘夢実現計画でまとめている途中の丘全体図

部会の名前と目的	作業内容
★施設検討部会 基盤となる公園をどのように整備するか検討	①目標に沿った原案図の作成 ②叩き台として調整会議で発表 ③各部会の意向を調整して図化
★整備検討部会 公園整備に誰がどのように関わっていくかを検討	①整備のどの部分に関わるか検討 ②完成後の維持管理の検討 ③整備活動への仕組みづくり
★活用検討部会 整備した公園をいかに活用していくかを検討	①公園の活用方法の検討 ②活動組織の発掘と育成 ③活動開始までの仕掛けづくり

(表1) 各部会の設置目的と作業内容

で誰がどのように整備し管理していくかを考え、三部会合同の調整会議に提案する。また、活用部会では、個人的なものから町を挙げての事業まで幅広い活用の可能性を考え、豊龍の丘に合った活用方法や可能性をまとめ上げ、施設部会に整備の方向性を提案する。こういった作業を繰り返すことで、一時的な地域の意見を反映する目先の効果だけを狙った計画を回避できるし、より多くの人々の思いが、計画づくりと実際の整備に生かされる活動となります。

この取り組みが、住民と行政の協働による「夢実現計画」を

まとめる活動となります。  
また、この活動は、工事が始まれば終わりではありません。この提案を実現するためには、行政が行う工事だけではなく、住民や団体、企業など多くのみなさんの参加が必要です。参加

なくして「めざす状態」の実現には到達できないのです。推進協議会では、今まで加わっていただいた町民以外へも広く呼びかけ、自発的に参加していただけ個人や団体をこれからも募っていく考えです。

## いろいろできる丘の活用 —これからどんなことが実施されるの？

今年の工事をきっかけに、地域の住民と行政が一緒になって活動する舞台ができあがります。そして、より多くの人の思いが集まり、みんなが憩える空間に生まれ変わるために活動がいよいよスタートします。

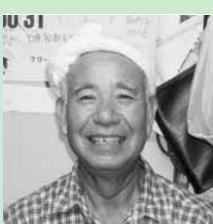
まず、基盤となる工事が十月から始まる予定です。工事の途中に町民向けの「現場内覧会」を行います。ここでは、発注した工事の施設の位置や規模を実際に現場でイメージしてもらうことで、新しい発想や考えが浮かび、更に現実味のある計画に仕上げることを目的としています。より多くの方に現場を見ていただいて、たくさんの方の思いを出してもうきっかけにしています。

また、整備後の利活用や町民の整備活動を具体的に想定して、今回の工事で手を掛けておきたいたいと思います。まだまだいるはずです。

今はこの活動に参加していない方も、いつでも加わることができます。みんなの個々の思いをぜひ出し合ってください。そして、みんなの知恵と力で生まれ変わる「豊龍の丘」を創造していきましょう。

今年の工事をきっかけに、地域の住民と行政が一緒になって活動する舞台ができあがります。そして、より多くの人の思いが集まり、みんなが憩える空間に生まれ変わるために活動がいよいよスタートします。

まず、基盤となる花壇を花でいっぱいにする「花植え隊」の組織、「ボンボリ夜桜の再現」など、年以降遊歩道に施工したいと考えている「間伐材活用の木材チップやベンチづくり」、整備された花壇を花でいっぱいにする「花植え隊」の組織、「ボンボリ夜桜の再現」など、これらの中年中実現を想定し、今年のうちに準備しておきたいことです。これらの来年中実現を想定し、実施についても、町民の方々に広く参加を呼びかけていく考えです。



### みんなの思いが集約される夢の拠点 浅井重弥さん（本町）

みんなが集まって個々の思いを出し合い考へることで、すごい発想が次々に出てきて、気がつくと夢中で参加していました。「みんなが集まって、みんなが心に安らぎを感じられる豊龍の丘にしていくため、私たち以外にも豊龍の丘に思いを持っている人が関わっていくような機会がもっともっとあれば」と感じています。まだまだいるはずです。



### 世代を超えた「思い」がいっぱいの場所に 布施美香さん（栄町）

朝日町に住んで数年しか経っていない私のように、これまで豊龍の丘に特別な「思い」がなかった人でも、これからたくさん的人がそれぞれの「思い」を持てるような公園をつくっていきたいです。

また、朝日町の住民として、これからもずっと豊龍の丘に関わっていきたいし、自分の子どもたちにとてもそうなってほしいと願っています。



### 日常生活に身近なみんなでつくる公園 渡辺ふみ子さん（元町）

形だけ立派でも、みんなが足を運ばない公園では意味がありません。日常生活の中で身近に感じられる「みんなの公園」にしていきたいと思います。親子や友達だったり、地元住民と町外の人だったり、多くの人たちがこの公園で「ふれあう時間」を楽しんでいる…。そんな光景を思い浮かべずにはいられない毎回の作業に、心が躍っている感じです。

### =夢実現ワークショップ= 参加者の声

# 台風15・16号・18号の爪痕

## 果物の落果のみで 被害額は9,000万円に…



日本海上空を通り津軽海峡を横断した台風15号。最大瞬間風速20.5mを記録（※注1）し、県内に再接近した8月20日未明の暴風雨による農作物への被害は、町の基幹作物であるりんごを中心とする果物の落果のみで約6,780万円に上ることが明らかになりました。

中でも被害の程度が大きかった所は、大暮山・大沼・今平のりんご、柏原団地のぶどう（ピオーネ）などで、ラ・フランスについては町内全域で落果による被害が出ました。地形的には、特に西斜面及び頂上の畠の被害が大きい傾向にあるようです。1本の木で果実の数が皆無となった所もあり、被害の度合いは深刻です。

8月30日未明と9月8日早朝にそれぞれ最接近し、どちらも最大瞬間風速24.0mを記録（※注1）した台風16号と18号による被害についても、果物の落果のみで約2,220万円に上り、3つの台風による被害総額を合わせると約9,000万円になります。これにりんご等の風ずれ（※注2）の被害を加えると、被害額

が更に膨らんでいくことは必至で、今後懸念されるところです。

夏場に高い気温が続いたことで果肉の熟度が進んでいたこともあり、農家にとっては収穫間近で期待に胸を膨らませていたこの時期。台風が残していった止むに止まれぬ爪痕に、農家の人々は肩を落としていました。

これらの被害を考慮し、寒河江西村山1市4町とJAさがえ西村山、山形中央農業共済組合の三者で「台風15号以降被害対策指導班」を8月23日に設置。被災農家の営農に係る個別指導、落果品・傷害果等の販売対策、さらには、今後の生産技術指導徹底等の対応を行っています。

（※注1）最大瞬間風速の記録…和合の選果場に設置してある風力計が示した値で、1秒当たりに移動する風の距離を表す。

最大瞬間風速が20.0mの場合、時速に換算（×3,600秒）すると $72,000\text{m}=72\text{km}$ という速さになる。上記の写真現場では、測定地点（選果場）の2倍に近い猛烈な風が吹き荒れたものと推測される。

（※注2）風ずれ…枝に果実がこすれて傷が付いた状態。商品価値が下がり、市場価格への影響が懸念される。

### 【写真説明】

台風15号による影響で特に被害の大きかったりんご畠。収穫を直前に控えたりんごが落果し無惨にも果実が皆無となった。

## 春日沼の環境整備が完了



春日沼（ハツ沼）周辺を人々が集う水辺の空間に整備していくこうと、「水環境整備事業（県営事業）」として平成8年度から9年の工期で施工されていた工事がようやく完了しました。

工事の内容は、春日沼の親水護岸工事と沼周辺の遊歩道の整備により、沼を一周することができるようになったほか、周辺にはトイレや四阿などが設置。駐車場も整備され、文字通り水辺に親しむことのできる施設が整備されたことになります。総事業費は3億3,000万円。

8月15日、春日神社の祭礼に合わせて行われた竣工式には、工事関係者や区民たちが集まり、工事の無事完了を喜んでいました。



## 楽しいよ！りんごっこクラブ

町からの委託を受け保護者会で運営している学童保育所「りんごっこクラブ」。今年4月の開所から5カ月が経過しました。これまでの利用状況は(図1)の通りです。8月末現在の登録会員は22人。その他、夏・年末・春の長期休みのみ利用する特別会員が4人おり、そのほとんどが1~2年生の子どもたちです。月に1回はおたよりを配布。ご家族の方々に子どもたちの様子などをわかりやすく紹介しています。

當時2人の指導員が付き添い、これまで星空観察会やピクニック、芋煮パーティー、夜間保育などの楽しい催しを実施してきました。中でも星空観察会は、保護者も合わせて43人の参加があり、特に好評だった活動です。その他には、月1回のお誕生会、たこやきパーティーやホットケーキパーティー、やきそば、カレー、そうめん、おにぎりと、何にでもパーティーと銘打つて楽しんでいる毎日です。

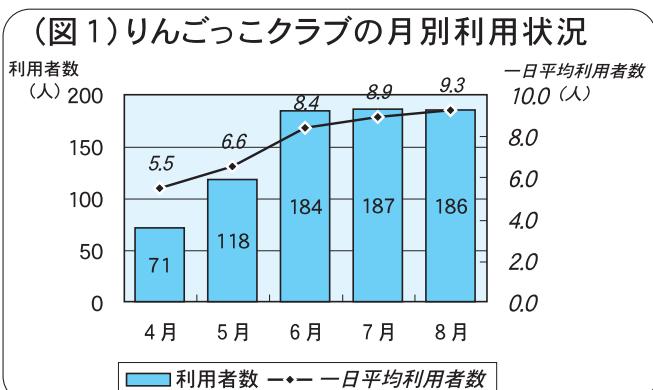
利用者の立場に立ったクラブの運営を心がけているところも特徴。当初、学校の休業日（土曜日・長期休業・行事等の振替休）の開所時刻を午前8時30分としていましたが、利用者の要望で30分早い午前8時としました。学校休業日の閉所時刻についても午後5時30分となってはいますが、利用者の実状に応じた対応をとっています。土曜日開所の要望もあります。当初計画では開所する予定でしたが、利用者数の関係で実施していない現状です。利用者がもう少し増えれば、実

## 宝くじ助成で防災機器整備



施に向けて動き始める準備は整っています。

なお随時、登録会員を募集しています。お気軽にお立ち寄りください。



問い合わせ先 りんごっこクラブ  
電話 67-2122

平成16年度コミュニティ助成（宝くじ助成）の自主防災組織育成事業を受けて、大沼区災害救助隊（小林昇隊長）に消火栓用ホースや無線受信機、発電機・投光機などの防災用機器が整備されました。

大沼区は、災害等が発生した場合、消防機関が到着するまで約20分の距離にあるため、「自分たちの地区は自分たちで守る」という防災意識の高い地区。今回の防災機器の整備により、毎年春の水利点検、消火栓や軽小型動力ポンプの使用点検訓練、秋の防災訓練など、年間を通して操法技術の向上と防災意識の高揚を図るなど、区民総参加のもと自主防災活動を展開していく予定です。



# まちの話題



## ①朝日町町制施行50周年記念事業「花やから公演」「郷土芸能の祭典」



### 沖縄燐々！太陽の乙女たち

「客席と一体となった舞台に私たちも感動しました！」公演を終えた乙女たちの声でした。沖縄の舞踊集団「花やから」の公演が8月9日、賑やかに開催されました。人口1万人を切る自治体で昼夜2回の公演を行うのは、今回が初めてとのことです。

会場となった創遊館ホールには、2回の公演で総勢710人が詰めかけ、4歳から18歳までの乙女たち12人が可愛らしく体いっぱい使って表現する言葉と激しい踊り、艶やかな舞いに、惜しみない拍手を送っていました。

燐々と降り注ぐ真夏の太陽を思わせる乙女たちの明るく可愛らしい表情と、ステージ一杯に繰り広げられる巧みな動作は、文字通りはなやかなプロの集団。彼女たちからたくさんの笑顔と元気をもらったという人も多いはずです。爽やかな心の栄養になりました。

### 郷土の芸能が創遊館に集結

創遊館ホールを会場に8月14日、郷土芸能の祭典が開催されました。各地区の郷土芸能が一度に見られる絶好の機会ということもあってか、会場には町内外から約300人の観客が集まりました。

この日披露された郷土芸能は、山形県指定無形民俗文化財の角田流大谷獅子踊り（同保存会）を初め、浮島雅樂（同保存会）、巫女の舞（和合小6年女子）、杉山神明神社獅子舞（杉山若衆組）、りんご囃子（民舞鶴見会）、ハツ沼奴振り（ハツ沼区）、そして、大沼の大行院から宮城県仙南地方に伝えられたと言われる大内山伏雅樂（宮城県丸森町）の計7演目。

お盆の一時を郷土の伝統芸能で楽しんだ観客たちは、「こんな機会そんなにないですよね。すばらしいです！」と口々に会場を後にしていました。

## ②「2004国産ワインコンクール」で朝日町ワインが銅賞を受賞

### 仕込み作業安全祈願祭で報告

山梨県と国産ワインコンクール実行委員会が主催し、7月26日から3日間の日程で甲府市で開催された「2004国産ワインコンクール」で、朝日町ワイン赤「セレクト・ルージュ2002」がみごと銅賞を受賞しました。今年で2回目となる本コンクールには、全国から405品の出品があり、朝日町ワインとしては始めての受賞です。

8月25日、ワイン城で開催された「ぶどう収穫感謝・ワイン仕込み作業安全祈願祭」の中でこのことが報告。醸造の技術は基より、高品質ぶどうの栽培に取り組んできた朝日町ぶどう生産者の努力の成果と、出席した

約40人の関係者一同喜びを分かち合いました。

夏場の高温少雨による好天が続いた結果、今年のぶどうのでき具合も糖度が増し良好とのことで、今回仕込まれたワインにも期待がもたれます。

受賞ワインは2,000本限定で今年の12月に発売予定。ぜひ一度、ご賞味ください。



ぶどう収穫感謝・ワイン仕込み作業安全祈願祭

### ③春日神社祭礼



春日神社（八ツ沼）の祭礼が8月15日、同神社境内で開催されました。おごそかに神事が執り行われた後、県指定無形民俗文化財の角田流八ツ沼獅子踊りや大獅子舞、奴振りが奉納。また、旧暦で閏年にあたる今年は、区民120人が参加しての大名行列が区内を練り歩き、お盆で帰省している人たちの目を楽しませました。

行列の一行は2時間ほどかけて若宮寺に到着。寺の境内では各踊りの演目全てが披露されることもあり、約500人の見物客が所狭しと腰を下ろし、演舞に見入っていました。中でも、わらじの鼻緒を切ってまでも40分間踊り続けた獅子踊には、大きな声援が送られました。

## ⑤第6回白い紙ひこうき大会



### 夏の一時 童心に返った瞬間

白い紙ひこうき大会が8月22日、旧大暮山分校で開催されました。

老朽化により5年前に閉校した木造校舎を利用し、暮れゆく夏の思い出づくりはどうですかと始まったこの大会も、今年で6回目を迎えます。地元区民からの絶大なる支援を得て運営されるこの大会。遠くは千葉県からの参加者を含め、子どもからお年寄りまで約100人余りが参加しました。

「より遠くへ！」と願いが込められフライトする紙ひこうき。しかし、操縦士の意図とは異なりとんでもない所に着陸する機体も。会場がため息と笑いの渦に包まれる中、2階の窓枠を元気よく飛び出す紙ひこうきは、校庭に広がるパノラマに優しく弧を描いていました。

## ⑥第11回西部地区スポーツF

### アテネに続け！700人が集う



## ⑦栄町子ども会による火の用心

### 晩ご飯時に拍子木の音が響く

「火の用心 “カンカン” マッチ一本火事の元 “カンカン” 火の元にご注意ください “カンカン”」今夜も栄町に、火の用心を促す拍子木の音と共に子どもたちの声が響きます。

栄町子ども会の夏休み恒例の行事「火の用心」。4年前に近藤武さん（栄町）から同子ども会に対し拍子木が贈られ、この年から毎年継続して行われているものです。

## ④旧小学校を利用した映写会

### 学校が映画館に早変わり

平成15年3月までに閉校した立木、上郷、送橋、水本の旧小学校を利用した映写会が、8月20日から4日間の日程で開催されました。

この企画は、東北芸術工科大学と町と価値ある水本小を活かす会「生楽耕」で組織する「朝日町あたらしいがっこう設立支援委員会」が、具体的な活動の中から利活用を探ろうと地元のみなさんと共に主催したもの。学校跡地利用について検討いただいている東北芸術工科大学の元倉眞琴教授を初め、同大学の学生たちも参加し会場を盛り立てました。

映写会に先立って行われた「おどろきばん工作教室」では、同学生たちの指導のもとに動く絵のおもちゃを作りはしゃぎ合った子どもたち。4カ所全体で約250人の地元区民らが大画面の映像と体感できる音響に包まれた映画「学校II」を楽しみました。

第11回西部地区スポーツフェスティバルが8月22日、西部公民館の体育施設で行われ、園児からお年寄りまで約700人が5種目の競技に熱戦を繰り広げました。

「朝日町誕生50周年記念」と銘打った大会の開会式では、今年も西五百川小学校の「さくらバンド」が校歌など3曲を披露。参加者から大きな拍手が送られていました。

各競技の優勝チームは次のとおりです。  
▽グラウンドゴルフ…太郎二▽ソフトボールAブロック…松程、同Bブロック…西船渡▽インディアカ…タコサシ（常盤）▽ビーチバレーボール…夏草はるちゃんズ▽輪投げ…常盤

8月10日、小中学生14人のうち10人が参加。宮宿小3年の大場陸君は、「目の前で火事を見たときすごく怖かった。小さな火が大きな火へと変わる。火事が起きないように…って願い頑張っています」と話してくれました。



**まちの話題**

## ⑨わかば保育園にちびっこ探検隊



### 初めて保育に地域史を導入

わかば保育園に「ちびっこ探検隊」が誕生しました。

この探検隊の特徴は、大谷歴史学習会「風和会」事務局長である堀敬太郎さん（大谷一）のご指導のもと、園児にとっては少々難しすぎるかもしれない地元の歴史を、あえて保育に活かしてみよう試みているところ。「小さい時に体で体験したことは、大人になっても記憶に残っているもの。地域を理解することで地域愛を育む。可能な限り若いうちから経験させることが大切なことです」と堀さんは話してくれました。

大谷風神祭を明日に控えた8月30日には、祭りの内容をスライドで学んだ後、洗剤の空き箱を利用した「田楽提灯づくり」に挑戦しました。

## ⑧外遊びバイキング



### 昔の遊びにおはしゃぎ

「本日のメニューは、ビー玉、メンコ、竹とんぼ、国とり、ゴムはね、缶うま、それと液から作るシャボン玉遊びでございまーす。」昔懐かしい外遊びをしてみようと『外遊びバイキング』と称したいものがわ少年教室が8月9日、西五百川小の児童を対象に開催されました。参加した子どもたちは36人。

連日の猛暑続きで、かき氷や流しそうめんで「冷」を摂りながらでしたが、初めて挑む遊びに戸惑いやもどかしさを感じたり、そうめんをいっぱいすくい取り誇らしげに食べる姿や、友だちのためにかき氷を作る微笑ましい場面も見受けられました。

真っ黒に日焼けした子どもたちの顔から白い歯がこぼれ、また、親たちも童心に返って楽しんだ夏休みの一日でした。

## ⑩米沢牛枝肉共励会で最優秀賞

### 牛に愛情を注いで21年

米沢牛銘柄推進協議会が主催する「米沢牛枝肉共励会」で、小林勝三さん（夏草）の飼育する肥育牛が、みごと最優秀賞の栄冠に輝きました。元牛、餌の内容、肥育環境の3拍子が揃って初めて、脂質の良い肥育牛が育つとのこと。今回の受賞は、小林さんご夫妻による優れた肥育技術が認められた証と言えます。

また、昨年の12月に開催された「米沢牛枝肉共進会」においても、みごとチャンピオン牛の栄誉を獲得して

おり、今回の受賞と合わせるとダブルの栄冠となりました。肥育牛を飼育する酪農家が目標とするところは、共励会と共にどちらかの賞を獲得すること。最高の賞を続けて獲得するのは大変希なことだそうです。



「牛舎を構えて21年。たまたま次の出番となった牛を出品した結果で夢のようです」と控え目に話す小林さん。「これからも健康に気を付けて、牛に愛情を注ぎ続けていきます」と表情には自信が溢っていました。

## ⑪長寿クラブダンス交流会

### ダンスで心身共に元気

大谷長寿クラブダンス愛好会（白田辰雄会長）と和合ダンス愛好会（佐藤哲夫会長）、河北町ダンス紅華会（松田幸治会長）による交流会が8月27日、秋葉山交遊館を会場に開催されました。

ダンスホールには、思い思いに着飾った36人のお年寄りが集まり、マンボ、ジルバ、伦バといった音楽に合わせて、リズミカルなダンスを披露していました。

元宮宿小教頭の松木広雄さんの門下生として、結成

時期の早い大谷（11年目）と河北（13年目）とが相互交流を始めて今年で7年目。年2回の交流会で今回が通算で



13回目の開催となります。冬期間のみ大谷と交流を持っている和合も今回参加しました。

「同じ夢を持った人たちとダンスを通して友だちになれる。心身共に元気になれるところがいいところかな」と話すのは白田会長。

# みんなのひろば



## 広報紙で振り返る朝日町の50年 其の4 (昭和59年11月~平成6年10月)

- 昭和59年 第1回町民駅伝大会開催
- 昭和60年 西部健康増進センター完成(10月)  
秋葉山グランド完成
- 昭和61年 町立病院新病棟完成(2月)  
アイスワイン発売開始(3月)
- 昭和62年 西部地区総合運動場完成(3月)  
馬神ダム完成(9月)
- 昭和63年 立木小学校へ4名山村留学(4月)  
西五百川小グランド完成(6月)
- 平成元年 朝日自然観オーブン(10月)  
八天橋完成(10月)
- 平成2年 空気神社完成(7月)
- 平成3年 「あさひまちF21PJ」スタート  
ハッ沼・大谷角田流獅子踊り県無形民俗文化財に指定(11月)
- 平成4年 町民プールオーブン(7月)  
べにばな国体デモスボ開催(9月)
- 平成5年 3人目出産祝い金交付(4月)  
新宿薬師如来立像県指定有形文化財に指定(7月)
- 平成6年 空気神社奉賛会が第一回地球賞受賞  
最上川清流エコシンポジウム開催

建設準備段階から携わっていた阿部洋一さん(栄町)は、「ホテルマンの経験者が誰もおらず、全くゼロからの出発でした。若い職員を東京のホテルに修行に出し、私は地元の人たちと山菜を作ったり遊歩道の整備をしました。寝る暇もないくらい忙しかったですよ」と当時を振り返る。

また、国際交流も盛んに行われ、アメリカや中国、韓国などから留学生や技術研修生が来町したり、

平成元年十月一日、村おこし一大プロジェクト事業として「朝日自然観」がオープン。「テープカットと同時に千個の風船が天高く舞い上がり、和合小の子どもたちによる和合太鼓の音が、澄み切った空気と色つき始めた朝日の山並みにこだました」と、広報あさひは喜びにあふれたオープン記念イベントの模様を伝えています。



更に、少子高齢化に伴い若者の定住、交流人口を増やすことは町の必須で、平成二年の合併処理浄化槽の設置を推進した「地球上にやさしいまちづくり運動」、人材養成事業『F21プロジェクト』の開設。また「楽しい生活環境観・エココミュニ

として、地域の自然や芸術、産業を再認識する事業に取り組み、平成四年六月には国際エコミュージアムシンポジウムが開催されるなど、新たなまちづくりが展開されました。

## 町づくりの新たな起爆剤「朝日自然観」オーブン

### 各種大会の成績

(○内数字は順位)

#### 第52回山形剣道大会

(8月1日)

酒田市国体記念体育館

▽一般団体三段以下の部  
①朝日町剣連B ②朝日町剣連C



■山形県少年少女スポーツ交流大会西村山地区予選会  
※県大会出場のみ記載

▽剣道(9月22日・大谷中武道館)  
男子団体/①大谷ジュニア剣道  
富宿剣道

女子団体/②宮宿剣道

女子団体/③朝日町柔道

▽卓球(9月28日・河北町民体育館)  
男子団体/①朝日卓球

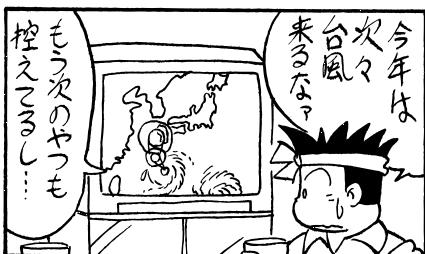
女子団体/③朝日卓球

▽卓球  
男子団体/①朝日卓球  
女子団体/③朝日卓球

▽卓球  
男子団体/①朝日卓球  
女子団体/③朝日卓球

# となりの お父さん

作・ホリイ (165)



常盤

長岡元広さん  
由美子さん



お父さん  
新嫁さん

今年3月に神奈川県から嫁いでいらした由美子さん。なんと、お母さんの実家が元広さんの家の近所で、朝日町には子どもの時からよく遊びに来ていたそうです。「前から農業や自然に興味があって朝日町のことはよく憶えています。もしかしたら、その頃から運命的な何かがあったのかも？！」と、赤い糸の力を感じさせてくれました。

初めて会ったその日に、由美子さんの素敵なお顔に惹かれて神奈川県まで通うことを決めた元広さん。時には由美子さんが山形に来てデートを重ねたそうです。初めてのデートは江ノ島で、由美子さんの案内に元広さんはついて行くだけだったとか。「本当にしっかりした女性なんです」と笑顔で語る元広さんの顔からは、由美子さんへの愛情が伝わってくるようでした。今年7月末には、長男宜秀君が誕生。“いいパパ”ぶりを發揮しているそうです。

「いつまでも変わらないモト君でいてね」という由美子さんに、「今ままの君でいて」と元広さん。楽しくて笑顔の絶えない家庭を築きたいという二人。いつまでもお幸せに。

## 今月の新刊

### おすすめ本！

理科室から生まれた  
ノーベル賞



**群ようこの良品カタログ** 群ようこ著  
竹中千春  
人生の盛夏を過ぎた頃の恋愛は静かな燎  
い花火のよう。生きることの痛みと意味を  
繊細かつ大胆に描く作品集。

**秋の花火** 篠田節子著  
シルミド  
金日成の首を取り死刑囚や無期囚で結  
成され、実尾島(シルミド)という無人島で  
過酷な訓練に耐えていた特殊部隊員に下さ  
れた指令。国家機密として封印されてきた  
暗殺集団の運命は…。

世界はなぜ仲良くできないのか、なぜ数  
えきれないほどの人々が、命を失いケガを  
し、住むところを奪われ、苦しい暮らしを  
強いられているのか。暴力の連鎖を解くた  
めに知るべきことや、考えるべきことをや  
さしく解説。

**世界はなぜ仲良くできないのか？  
—暴力の連鎖を解くために—**

竹中  
千春著

▼恋なんて、少し不幸ぐらいがちょうどいい (唯川 恵)  
▼人生讃歌一愉しく自由に美しく、又のびやかにー (美輪明宏)  
▼恋なんて、少し不幸ぐらいがちょうどいい (唯川 恵)  
▼パレスチナの声ー現地ルポー (土井敏邦)  
▼人生讃歌ー現地ルポー (土井敏邦)  
▼パレスチナの声ー現地ルポー (土井敏邦)  
▼プライド (山川健一)  
▼人生讃歌ー現地ルポー (土井敏邦)  
▼降臨の群れ (船戸与一)  
▼道長の冒險ー平安妖異伝ー (平岩弓枝)  
▼よど号と拉致 (NHK報道局)  
▼砂漠の戦争ーイラクを駆け抜けた友、奥克彦へー (岡本行夫)

**みなさんからのおたよりでつくるコーナーです。**  
町に対する意見や要望、提案みなさん周りでの出来事や話題、日ごろ感じていること、イラスト、質問などお待ちしています。

■あて先／〒990-1442 朝日町大字宮宿1115番地  
朝日町役場企画課 協働推進係  
(電話：67-2112 フックス：67-2117)  
■Eメール／kikaku@town.asahi.yamagata.jp  
■ホームページ／http://www.town.asahi.yamagata.jp

## 町民の声

### 中学校の水道水 錆臭くて飲めません

**中** 学校の水道水が、錆の影響のせいか、飲むのがたいへんです。水道管が老朽化しているのではないでしょうか。一度調べてみてください。

【15歳 匿名】

**朝** 日中学校校舎は、昭和四十九～五十一年度に建築したものですが、蒸気ボイラーの経年劣化により亀裂が生じ暖房効果が薄れしたこと、また、錆による給水管の閉塞と赤水の障害、バルブ類の腐食が著しかったため、平成九年度に大規模改修工事を実施しました。

工事の内容は、蒸気ボイラー設置から各部屋へのFF暖房機の設置と集中管理、給水管については、バルブ類の全面交換と既設管を研磨洗浄して樹脂塗装を行つたものです。

防止されたものと考えていましてがいまして、給水管の錆は防止されるなどと考えていますが、特に休み明けで普段使つていらない蛇口を使用した時は、赤水が出てくる可能性もありますので、しばらく水を出しつぱなしにするなどの対策をお願いしたいと思います。

なお、学校等の施設に支障がある場合は、学校を通じていつ

でも教育委員会に連絡が入るようになつてることを申し添えます。【教育委員会管理課】

### 広報紙に掲載される 成人式の集合写真 楽しみだつたのに…

毎

年、成人式の集合写真が広報紙に掲載されるのを楽しんでいました。今回も掲載されているものと思ひ見てみた

ら、小さいスペースに記事が載つていていました。毎年掲載されているのに、何故今年は例年同様に掲載されなかつたのでしょうか。がつかりてしまひました。

行事がたくさんあつたからと言われればそれまでですが、樂しみにしている人たちのこととも考えてください。

【匿名】

**月** 一回発行される「広報あさひまち」は、年度当初に開催される広報委員会の中で、編集の基本方針や基本計画が検討されることになつています。

町の厳しい財政状況等も考慮し、発行概要について検討をいたしました結果、今年度は基本的に毎月16頁の構成でいくことになりました。(1)表紙(1頁)(2)特集(4頁)(3)町政スポット(2頁)(4)カメラさんぽ(2頁)

⑤まちの話題(2頁)⑥みんな

のひろば(2頁)(7)町民の声(2頁)(8)裏表紙(1頁)が基本上の構成となります。なお、月によっては特別に20頁構成になります。

これらのこと前提に、今年の成人式の記事を掲載した五月号を見ていたくと、前述した基本構成と異なる点として、町政スポットが4頁、このため、例年成人式の集合写真を掲載していたカメラさんぽの頁を確保できなかつたことがご理解いただけると思います。それなら20頁構成でもいいのでは、とうことになりますが、カメラさんぽ2頁を加えることで、他の項目を2頁増やすなければならなくなり、全体的な掲載記事の内容からしてそれは不可能なことでした。結果的に、成人式の記事は、まちの話題の頁(半面)に収まるこになりましたが、可能な限り多くの写真を取り入れて編集させていただきました。

次年度以降については、この

ことでした。電報に使用されるモールス信号を覚えるため、学校で猛勉強なさつたそうです。今でも体が覚えており、電報を打つその姿は、当時の活躍ぶりを想い起させます。清野さんは、この電報を何とかして後世に伝えたいと努力しています。

(高橋 諭 2003.2)

※あさひまち宝さがし実行委員会では、ひきつづき「まちの宝」を募集しています。広報紙の折り込みはがきを利用しご応募ください。あさひまち宝さがし実行委員会

### あさひまちの宝箱 vol. 11



#### 清野寅男さんの「電報の仕事」

当時最先端の通信手段だった電報。清野さんは、電報や通信の歴史について熱く語ってくれました。清野さんの宝はそんな電報の仕事。またそれによって家族を養ってきた



■8月1日～8月31日届出



## すこやかに

区名	出生児氏名	性別	保護者名
大谷五	佐藤 将羽	男	市寿・優美子
大谷五	藤田 晶	男	康徳・道代
常盤	長岡 宜秀	男	元広・由美子
西原	阿部 茉奈	女	和明・慶子
大隅	鈴木 梓耶	男	光貴・里美
能中	伊藤 昇汰	男	純・さゆり



## おしあわせに

長岡 昭博 (常盤)	鈴木 史織 (元町)
和田 俊彦 (河北町)	佐竹 亜矢 (常盤)



## やすらかに

区名	死亡者氏名	世帯主名
栄町	多田 健一	信一
夏草	阿部 晃士	かつ子
夏草	長岡 富夫	とらゑ
松程	松尾 利光	本人

掲載を希望しない方は、お届けの際にお申し出ください。

## 人口と世帯数

●平成16年8月31日現在  
人口 8,964人(±0)  
男 4,444人(増1人)  
女 4,520人(減1人)  
世帯数 2,569戸(減2戸)  
( )内 前月比



## ジェニファー先生の 英語にチャレンジ

I am from a city in Alaska called Juneau.

Hello Everyone!! My name is Jenny Lund and I am the new ALT in Asahi. I am very happy to be here in Japan and learning about Japanese culture. Thank you very much for your kindness and hospitality!!

I am from a city in Alaska called Juneau. Juneau is the capital of Alaska and has 30,000 residents. Juneau is located in the Southeastern part of Alaska, in an area called the "Panhandle" of Alaska. Southeast Alaska borders Canada and has a warmer and milder climate than the rest of Alaska. Juneau is the only capital city in the United States that does not have a road connecting it to other cities. The only way to get into Juneau is by boat or airplane!

Alaska is the largest state in the United States with a total area of 1,530,700 square kilometers, but has the third smallest population among the 50 States with only 650,000 people. The highest point in Alaska is Mt. McKinley, at 6,194 meters above sea level. In fact, Mt. McKinley is also the highest point in North America.

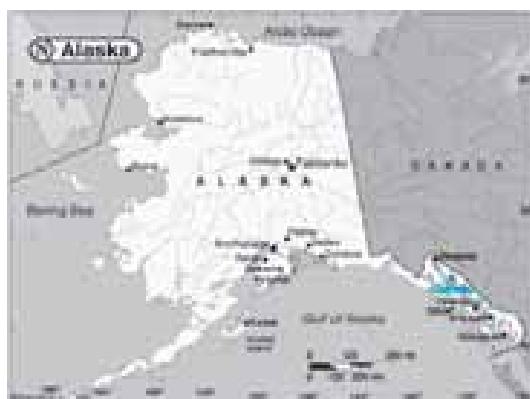
Juneau has many kinds of wildlife and natural beauty. There are black bears, eagles, whales, king salmon, porcupines, mountain goats, deer, and much more! In winter, I can see the aurora borealis, which we call the "northern lights", and in the summer, there are 18 hours of sunlight. The city of Juneau is located at the base of 1,200 meter high mountains and alongside the pacific ocean. In Juneau, my family and I enjoy fishing, hiking, and camping.

こんにちは。私はALT（外国语指導助手）のジェニー・ランドです。日本の文化について学べることと、何よりもここ朝日町で働くことができたことを嬉しく思っています。みなさんからの快いおもてなしと親切に対し、心から感謝します。

私の出身地は、人口が3万人ほどの都市、アラスカ州の州都ジュノーです。ジュノーはアラスカの南東部に位置し、アラスカの「パンハンドル（平なべの柄）」とも呼ばれています。隣国カナダと接し、気候も年間を通して温暖で穏やかなところです。ジュノーは他のどの都市とも陸路でつながっていない、アメリカの州都としては唯一の都市なので、交通手段は船か飛行機しかありません。

アラスカの面積は1,530,700km<sup>2</sup>。アメリカで最も広い面積を誇ります。しかし、人口は65万人程で、50州の中では少ない方から数えて3番目です。アラスカと言えば、海拔6,194mのマッキンリー。北アメリカで最も高い山です。

ジュノーは自然豊かなところで、多くの野生動物が住んでいます。黒熊、鷺、クジラ、キングサーモン、ヤマアラシ、山羊、鹿など、その他にもたくさんいます。冬場は、「ノーザン・ライト（北の明かり）」と呼ばれているオーロラを見る 것도できます。夏場は、18時間も太陽が沈みません。ジュノーは、1,200mクラスの高い山の麓、太平洋のそばに位置するところにあり、私たち家族は、魚釣りやハイキング、キャンプなどを楽しんでいます。



# 朝日町の原風景 写真コンテスト作品 vol.17

## 佳 作 コスモスの頃の棚田



朝日町には、いろいろな所の地域の人たちとふれあいながら、写真を撮りに訪れています。この写真のような素朴で心が和む風景を自分の手で残したいと思い、この棚田にも年間を通して訪れています。

訪れて感じることは、農家の方々の力は素晴らしいと思うとともに、普段食べているお米にも感謝の気持ちを忘れてはいけないということです。

これからも、主人と二人でお弁当を持って、地域の人たちとの交流を楽しみにしながら、いろいろな田舎の風景を写真に残していきたいです。

撮影者 伊豆田照子 さん（山形市）

### 春 夏 秋 冬

#### 編集後記

近くまでテレビの前で感動し涙した人も少なくないはずです。それにしても、人々に感動を与えることができる。すばらしいことですよね。やはり、夢は見るものではなく、追い続け叶えていくものなんですね。少々おなかの出っ張りも気になってきたところで、私もスポーツを楽しみ「超一気持ちいい！」なんて叫んでみたいと思う今日この頃です。

スキの穂  
揺らす額に 光る汗

（はやけん）

▼広報の編集作業を終え、自宅までの道のりを帰る途中、所々の作業小屋に明かりがついていたのが目に付きました。「何だろ？こんな夜遅くに…。」収穫間近のこの時期だけに、台風による被害を最小限に食い止めた。台風が通過する前に可能な限り収穫作業を終わさなくてはという、農家の方々の差し迫った心の表れでした。

▼近代オリンピック発祥の地ギリシャのアテネで、今世紀最初のオリンピックが開催。予想を上回る日本選手の活躍で、朝方



広報「あさひまち」は再生紙を使用しています。